

もっと! 地酒の会

第1回定例会

日本酒提供元 小町酒造株式会社

蔵元概要

清流の極み長良川

鵜飼で有名な清流・長良川の中流にある各務原は、戦国武将との縁も深い地。その歴史ある美濃の風土を酒で伝える。蔵内に環境音楽を流す「静音醗酵仕込み」でふくらみのある癒しの美酒に。

会社名	小町酒造株式会社
住所	岐阜県各務原市蘇原伊吹町2-15
TEL	058-382-0077
FAX	058-371-1027
社長	金武和彦
杜氏	伊藤賢治(南部)
創業	明治27年(西暦1894年)



自然音楽酒蔵

静音醗酵仕込み

お酒を造る酵母菌も生物だから・・・

どうして酒造りに音楽がいるのか?これが一番よく聞かれる質問です。その説明には、私たち基本理念からお話しなければなりません。長良川の日本酒醗酵に対する**基本理念「日本酒が人が作るものでなく、生物が醸すものである。」**との考えです。お酒を造る酵母菌も生物です。長良川ではその生物の醗酵環境を出来るだけ自然に近い状態にして、**生物の能力を最大限に引き出す**ことです。このヒーリング音楽は、生物のα波、β波を引き出すことにあります。ただ、本当は理屈ではなく、**「旨い酒の為に生物により快適な、自然な環境を作り出したい。」**そんな思いから始めたことです。最初は疑問を抱いていた方がほとんどでしたが、今は自然に受け入れていただいています。なぜ?簡単です。酒蔵にいと心地よさが感じられるからです。

メダル受賞

平成21年4月21～22日、ロンドンにて「**インターナショナルワインチャレンジ2010**」の

SAKE部門の審査が行われ、このたびメダル受賞酒が決定しました。

「長良川」も出品のご縁をいただきましてメダル受賞いたしました!!

☆純米酒の部で**Silver賞**をいただきました。

☆純米吟醸・純米大吟醸の部で**Silver賞**をいただきました。

この賞は「品質ガチンコ」勝負です。品質が確実に評価いただきました。



地酒紹介

スパークリングにごり



商 品 名	長良川 スパークリングにごり
容 量	720ml・300ml
原 料 米	岐阜県産ひだほまれ(精米歩合60%)
日 本 酒 度	-1
酸 度	1.7
アルコール度数	17.3
レ ポ ー ト	長良川定番の酵母が活きている“活性にごり”。スパークリングにごり酒です。酒税法では『モロミ』を搾ってはいじめて出荷が認められます。つまり、モロミを汲んで出荷するのは違法です。にごり酒は荒い“フィルターで搾った”日本酒です。

しぼったまま熟成純米



商 品 名	長良川 しぼったまま熟成純米
容 量	1800ml・720ml
原 料 米	岐阜県産ひだほまれ(精米歩合60%)
日 本 酒 度	+3
酸 度	1.5
アルコール度数	15.0度以上16.0度未満
レ ポ ー ト	岐阜酒米「ひだほまれ」のしぼりたて純米を、酒蔵でじっくりと熟成をさせました。旨味が出やすい「ひだほまれ」が、フレッシュ感を残しながら、熟成の旨味を堪能できます。季節限定のオススメの逸品です。

立春ひやおろし



商 品 名	立春ひやおろし
容 量	—
原 料 米	契約栽培 山田錦(精米歩合50%)
日 本 酒 度	+1
酸 度	—
アルコール度数	17度以上18度未満
レ ポ ー ト	立春の朝に搾る「立春朝搾り」を瓶ごと「火入れ(加熱殺菌)」して、半年間、酒蔵でじっくりと熟成させました。山田錦50%の純米大吟醸ランクの原料米を使用した香り系の純米吟醸を、やわらかながら旨味を堪能いただける味に仕上がりました。

超辛口
+20



商 品 名	長良川 超辛口+20
容 量	1.8L・720ml
原 料 米	岐阜県産ひだほまれ(精米歩合65%)
日 本 酒 度	+20
酸 度	1.6
アルコール度数	18.3
レ ポ ー ト	分析では日本で最も辛い(糖分の少ない)日本酒の一つです。醗酵を極限まで行い、タンク内のお米の糖分を、醗酵で全てアルコールに変えた…イメージで醸します。(実際、糖分40%カット:当社比) 辛いでなくドライな日本酒。お試しを。

美酸純米

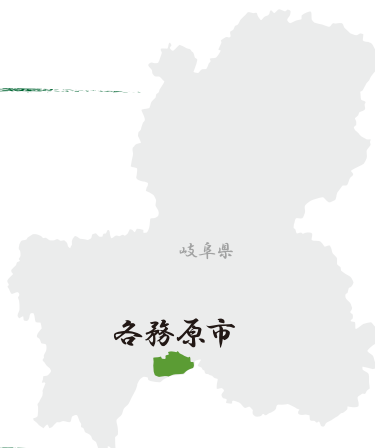


商 品 名	長良川 美酸純米(びさんじゅんまい)
容 量	500ml
原 料 米	岐阜県産ひだほまれ(精米歩合60%)
日 本 酒 度	-22
酸 度	3.8
アルコール度数	14度以上15度未満
レ ポ ー ト	岐阜で新開発の“多酸性能酵母”で仕込んだ、新しいタイプの新感覚日本酒。その味わいの表現は、酸味のおいしい純米酒。えっ!これ日本酒?と驚く、白ワイン風味のさわやかな酸味が特色。少し冷して、まろやかで豊潤な酸味をご堪能ください。

各務原概要

各務原とは

各務原市(かかみがはらし)は、岐阜県南部の市である。
濃尾平野の北部に位置し、中山道の宿場町(鵜沼宿)として栄え、近年は岐阜市や名古屋市ベッドタウンとして発展を遂げた。
市内には「各務原市民公園」をはじめとする多数の大規模な公園緑地があり、「パークシティ=公園都市」を目指すことを市のまちづくりの政策として掲げ、2005年に「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞している。



地理

北部から東部にかけて山地が広がり、南部を木曽川が流れる(愛知県との県境を成す)。市の大部分には各務原台地が広がり、極めて水はけの良い土壌であるため稲作には不向きで、鵜沼宿などの宿場町や街道沿いに街があったほかは、明治期までは大部分が原野であった。
名鉄の六軒、二十軒という駅名や、溜め池の苧ヶ瀬池は当時の名残である。
明治以降は、このような広大な原野と水はけの良い土壌を生かす形で、軍事基地や演習場、かつては岐阜大学の農学部と工学部がおかれ、機械や紡績の工場、少ない水で成長する人参などの生産が主な産業となった。

産業

工業出荷高は県内第2位であり、飛行実験隊に位置づけられている航空自衛隊岐阜基地に隣接する川崎重工業航空宇宙カンパニーの航空機工場(所在地は「各務原市川崎町」)、三菱重工業などの関連航空機部品企業群、自動車関連工場など輸送用車輛機器、金属加工企業が群立している。

歴史

重要文化財にも指定される縄文時代の遺跡や古墳も発見されている。この地の豪族であった村国男依は壬申の乱で大海人皇子に属し最大の功を立てたと言われ、各務原市周辺には関連するスポットが多く残され、承久の乱の古戦場もある。
江戸時代には中山道が通り「鵜沼宿」が設けられ、脇本陣跡には松尾芭蕉の句碑も復元されている。演劇との関わりも深く、明治期に建てられた「村国座」は当時の劇場建築の典型を今に伝える農村舞台として国の重要有形民俗文化財にも指定されている。
また、日本の女優の祖ともされる川上貞奴によって建立された「貞照寺」は諸芸上達、芸事成就にご利益があるとして中央演劇会・財界に信者が多い。

ワンフレーズ自慢

